学校番号	414

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	３	年次	２
使用教科書	精選古典Ｂ　改訂版（三省堂）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版）新精選古典文法改訂版（東京書籍） リード古文２（標準編）（啓隆社）読んで見て覚える重要古文単語３１５　三訂版（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ

「古典」と聞くと、遠い昔の、自分とは何ら関係のない世界だと感じる人は少なくないでしょう。しかし、現代を生きる私たちがそうであるように、遠い昔を生きた人々も、自然を愛し、文化を作り、家族や友人とつながり、そして恋愛に苦悩していました。古典の世界を覗くことで、きっと新しい自分に出会えるはずです。
・予習として必ず本文を読んでおくこと。何より授業の後の復習が大事です。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の目標

☆古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
【到達目標】・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。
・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等）定期考査・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	説話	古今著聞集「能は歌詠み」	○			◎	○	a：説話を読み、古文の読み方の基礎を確認する。 d：登場人物の言動や心情を読み取り、作者の考えを捉える。登場人物個々の人物像とその関係性、それぞれの心情を読み取っている。 e：和歌の主題を理解する。	a：行動の観察 d：記述の確認及び分析（ワークシート） e：記述の確認 定期考査
	随筆一	徒然草 家居のつきづきしく」	○			◎	○	a：中世の随筆を読み、古人の思索と無常観を理解する。 d：論理展開に留意し、作者の主張を読み取る。 e：古語と現代語で意味の違う言葉に注意して本文を現代語訳する。基本的な助動詞や助詞の意味用法や、係り結びを理解する。「徒然草」の文学史上の位置づけを理解する。	a：行動の観察 d：記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査 e：記述の確認 定期考査
		方丈記 安元の大火」	○			◎	○	a：和漢混淆文の特徴を味わい、文章表現の技巧も読み取る。 d：火災の様子や人々の様子についての描写を読み取り、作者の住居に対する考えを理解する。 e：「方丈記」の文学史上の位置づけを確かめ、「徒然草」との違いを明確にする。対句表現や比喩などの修辞技法について理解する。作者の住居に対する考えを読み取る。	a：行動の観察 d：記述の確認及び分析（ワークシート） e：記述の確認 定期考査

	漢詩	近体詩（「江南春」他）	○			◎	○	a：それぞれの作者について理解する。詩を声に出して読み、歴史的仮名遣いに気を付けながら読む。 d：それぞれの詩の内容を捉える。唐詩の調べを理解し，詩を暗唱する。 e：唐詩の詩形，押韻，対句の表現について理解する。	a：行動の観察 d：記述の確認及び分析（ワークシート） e：記述の確認 定期考査
2学期	随筆二	枕草子 中納言参りたまひて」	○			◎	○	a：古典を読む能力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。 d：登場人物に注意し、主語を明確にして、本文の現代語訳をする。作者の機知と、その場にもたらされた笑いについて読み取る。本文を記した作者の心情を理解する。 e：平安時代の宮中の様子や、作者を取り巻く人間関係について理解する。敬語の種類や誰の誰に対する敬意かを的確に読み取る。	a：行動の観察 d：記述の確認及び分析（ワークシート） e：記述の確認 定期考査
	物語二	大鏡 「三船の才」	○			◎	○	a：古典を読む能力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。 d：作者が藤原公任をどう評価しているか読み取る。藤原道長と藤原公任に使われている敬語の違いを理解する。 e：「大鏡」の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。当時の貴族が重んじていた教養を理解する。敬語の意味と用法について整理し理解する。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析(ワークシート) e:記述の確認 定期考査
	物語三	源氏物語 光源氏の誕生」	○			◎	○	a：「源氏物語」について、その構成や内容の概略、文学史的な位置づけについて理解しようとしている。 d：登場人物を整理し、それぞれの登場人物の境遇、心情などを理解する。桐壺の更衣を取り巻く状況、心情を読み取る。 e：平安時代の結婚形態、習慣などについて、基本的な事柄を理解する。敬語の意味・用法や重要語句、助詞・助動詞について整理し、理解を深める。	a：行動の観察 d：記述の確認及び分析（ワークシート） e：記述の確認 定期考査

		更級日記「門出」	○			◎	○	a：古典を読む能力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。 d：語句や文法に注意して本文を現代語訳する。作者の憧れが実現した喜び、育った家を離れる際の悲しみといった心情を読み取る。 e：「更級日記」や作者菅原孝標の女について、また女流日記文学について理解する。当時の仏教思想、東国の生活について理解する。	a：行動の観察 d：記述の確認及び分析（ワークシート） e：記述の確認 定期考査
	故事成語	漱石枕流」	○			◎	○	a：漢文訓読のきまりや基本的な句法への理解をする。リズムや抑揚など訓読の文体に注意して繰り返し音読しようとしている。 d：本文の内容を正しく把握し、故事成語がもとの話からどのように生まれ、使われるようになったかを理解する。夏目漱石のペンネームが「漱石枕流」に基づいていることを理解する。 e:書き下しについての用法・句形を理解し、現代語訳する。故事成語の意味の成り立ちを理解し、現代の用法の理解を深めている。	a：行動の観察 d：記述の確認及び分析（ワークシート） e：記述の確認 定期考査
3学期	史伝	史記「鴻門の会」	○			◎	○	a：訓読のリズムに注意して音読しようとしている。 d：登場人物を整理し、それぞれの登場人物の動向などを理解する。主要な助字や句法について整理し、本文を現代語訳する。 e：「史記」、司馬遷について理解する。「紀伝体」という史書の形式について理解する。	a：行動の観察 d：記述の確認及び分析（ワークシート） e：記述の確認 定期考査
	和歌・歌謡・俳諧	万葉秀歌	○			◎	○	a：リズム、句切れ、文脈に注意しながら音読する。「万葉集」歌風の特徴をつかもうとしている。 d：それぞれの歌を現代語訳する。それぞれの歌に詠まれる心情や情景を読み取り、作者についての知識を深める。 e：和歌の発想や表現、韻律、修辞法など、独特の表現方法を理解する。	a：行動の観察 d：記述の確認及び分析（ワークシート） e：記述の確認 定期考査

		古今和歌集仮名序	○			◎	○	a：リズム、句切れに注意しながら音読しようとしている。 d：「やまと歌は」を読み、「心」と「言葉」関係を理解する。 e：助詞や助動詞の用法についての理解を深める。「古今和歌集」の文学史上の位置づけを確認し、「歌論」というジャンルについて理解する。	a：行動の観察 d：記述の確認及び分析（ワークシート） e：記述の確認 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。